

かのりがわ
鹿乗川流域遺跡群 範囲確認調査

所在地 安城市小川町・木戸町
調査理由 鹿乗川河川改修工事に伴う事前調査
調査期間 平成12年1月～3月
調査面積 1,000 m²
担当者 木下 一・松田 訓・武井繁樹



調査地点 (1/2.5万「西尾」)

調査の経過 調査は、愛知県土木部による鹿乗川河川改修工事に伴う事前調査として、愛知県教育委員会の委託を受けて昨年度より実施している。本年度は、昨年度の成果を元に、工事予定地における範囲確認調査を行った。調査期間は平成12年1月から3月、調査面積は1,000 m²である。

立地と環境 鹿乗川は、碧海台地縁辺に沿って安城市東部を南北に流れており、この碧海台地からみた外側を矢作川が併行する。周辺の地形は、これらの河川により沖積地が形成され、現況として水田や畑地が広がり、また、自然堤防上の微高地には小規模な集落が形成されている。調査地の南西には本センターが調査を行った加美遺跡や志貴野遺跡がある。

調査の概要 本年度の調査では、昨年度行った8カ所の調査区における遺構、遺物の濃淡を元に、良好な結果が得られた部分の範囲を確認する事に主眼を置いた。調査対象は、昨年度のE区南よりH区南までとし、この範囲に任意でテストトレンチを設定した。各調査地点では現在の水田耕作土が約0.2 m入れられており、この下にオリーブ灰・浅黄色シルトの堆積が認められた。この下には灰・緑灰色シルトが堆積している地点があり、この層から、弥生時代中期末葉～古墳時代前葉にかけての遺構、遺物が確認できた。これらがもっとも良好に確認できたのは、昨年度のF区北側である。(木下 一・松田 訓・武井繁樹)



調査地点位置図 (1:20,000)